



# にかほ 議会だより

5.1 2023  
vol.75



〈竹嶋潟スケートパーク〉



## 2月臨時会・3月定例会

### 臨時会・定例会概要

審議概要と議会の視点……	2～5
議案・賛否一覧……	6～7
<b>特集</b> 「ここに注目」……	8～11
会派代表質問……	12～15
一般質問……	16～19
議員研修・政務活動費……	20
議員と語ろう……	21
編集後記ほか……	22





# 市窓口でキャッシュレス決済導入へ ～DX※推進～

※DX(デジタルトランスフォーメーション)  
デジタル技術を社会に浸透させて人々の生活を  
良いものへと変革すること。

市議会は2月臨時会(2月7日)、3月定例会(2月22日～3月20日)が招集・開催されました。  
2月臨時会では、出産・子育て応援交付金事業や建設中のスケートパーク施設の安全対策のための補正予算が上程されました。  
3月定例会では、令和4年度各会計補正予算8件、令和5年度各会計当初予算7件および補正予算1件、条例の制定および改正17件、教育長および人権擁護委員、監査委員の人事案件3件を含む議案36件、議提3件が上程され原案の通り可決されました。陳情5件のうち採択3件、趣旨採択1件、不採択1件となりました。

## 2月臨時会 (令和5年第2回)

### ◎ウェブ会議用端末の整備

982万円

概要 令和4年度事業で市庁舎のWiFi環境強化を実施。各庁舎のオンライン会議やリモートによる業務実施のため、端末機器を整備する。

### ◎出産・子育て応援交付金

959万円

概要 妊娠期から出産・子育てを一貫して支援する伴走型相談支援と経済的支援を実施。妊娠届出時および出生後にそれぞれ5万円を支給する。



スケートパークの利用状況ライブ配信

### ◎スケートパーク施設を整備

510万円

概要 施設の安全対策強化のため、フェンスや監視カメラの設置および管理用プレハブ仮設などの費用。

## 3月定例会 (令和5年第3回)

### ◎議員報酬条例の改正

概要 議員報酬の額を改定するための条例改正。予算特別委員会には、報酬額を現行のままとする修正案が提出されたが、賛成少数で否決。

### ◎議員報酬引き上げに賛否

Q 国の示す基準に他の地方公共団体との均衡に配慮とあるが、今後どうあるべきと考えるか。  
A 県内の秋田市と本市を除く11市の平均報酬月額が362,500円。職責や役割に見合った水準か議論の余地があると捉えており、今後も検討したい。

### 反対討論

佐々木正勝  
議員報酬の引き上げは必要とする考えだ。景気動向が好転し、市民生活が向上する中であれば反対するものではない。しかし、市内の経済情勢が回復傾向にあるものの、いまだ本格回復に至っていない現状では、報酬を引き上げる状況にないと考えることから、本議案に反対する。

### 賛成討論

齋藤 雄史  
平成27年の報酬額改定以降、改選ごとに積極的な定数削減を実施してきた。若い世代の政治への挑戦の芽をそがないためにも、近隣市との均衡を図り、報酬額を確保することは、議員の自覚と士気向上、議会全体の機能向上につながると考えることから、本議案に賛成する。

### 反対討論

佐々木春男  
「失われた30年」により労働者に非正規雇用と低賃金を広げ、市内の事業者、働く人々の生活に大きな影響があった。その上、物価高騰により市民の生活が節約せざるを得ない状況だ。この時期に、市議の報酬引き上げは、市民に寄り添った考えではないことから、本議案に反対する。

### 議会の視点

議員報酬は、社会情勢、財政状況および類似する他の自治体報酬ならびに議員の職務内容、活動状況などを考慮するべき。議会には、積極的な政策立案・提言を行える能力の向上が求められる。議員自身が不断の自己研鑽と議員活動の「見える化」に取り組む必要がある。

議員報酬 (月額)	改正後	改正前	差額
議長	328,000	304,000	24,000
副議長	285,000	264,000	21,000
委員長(新規) <sup>※1</sup>	280,000	250,000	30,000
副委員長(新規) <sup>※2</sup>	275,000	250,000	25,000
議員	270,000	250,000	20,000

[単位:円]  
※1 各常任委員会委員長(総務、教育民生、産業建設)および議会運営委員会委員長  
※2 各常任委員会副委員長(総務、教育民生、産業建設)および議会運営委員会副委員長

### ◎消防職員の定員を6人増加へ

概要 消防本部の体制強化のため、職員数を増加するもの。  
Q 数値上必要な人数が126人と算出されている。改正後の定数は6人増の71人となるが、職員の負担軽減となるのか。  
A 署の交代勤務者が1名増員となるため、若干の余裕が持っていると考えている。

### ◎教育長の選任

概要 3月末で退任する齋藤光正氏に代わり、新たな教育長に小園敦氏を任命するもの。無記名投票の結果、賛成12票、反対2票で同意と決した。

### ◎監査委員の選任

概要 3月5日に逝去された菊地衛氏に代わり、新たに森鉄也氏を市の監査委員として任命するもの。全員の賛成で同意と決した。

### 議会の視点

人口減少、少子高齢化が進む中で、消防の需要が大きく変化した。高齢者の増加に伴う救急出動が増えている中、救急隊の整備と消防体制の強化を図る必要がある。

### ◎出産育児一時金を増額(国民健康保険条例改正)

概要 法律改正により、8万円増の50万円へ改定。

### 議会の視点

少子化が進行する中、子どもの誕生は当事者のみならず社会の喜びとなる。妊婦への経済的負担は、軽減すべきだ。

## 議員報酬の改定



### 予算の審議・審査

令和4年度一般会計補正予算  
▲4494万円

歳入・歳出ともに実績見込みによる減額補正が多数を占める。主な要因は、コロナ禍による予定事業の中止・延期など。

#### 注目事業の審議・審査

◎生活路線バス運行費補助金(市単独補助分) 742万円

概要 民間事業者の路線(小砂川線)運行の実績に伴う増額。

Q 赤字額が大きい路線。羽後交通株式会社から撤退などの話はないか。

A 今年11月末で小砂川線を廃止する旨、羽後交通株式会社より申し出があった。今後、関連団体と協議しながら、代替手段を検討する。

#### 議会の視点

地域の生活路線であることから、廃止による住民の利便性低下が予測される。廃止される前に、地域の生活交通の在り方についての協議が急がれる。

### 予算の審議・審査

◎地域活性化企業人の活用へ負担金 560万円

概要 総務省の企業人材派遣制度を活用し、民間企業から一定期間社員を受け入れる。DX業務への従事を予定。

Q 業務の具体的内容は。

A 庁内での調整役、現場での課題検討の主導を期待している。令和6年度の「LINEを活用した行政DXツール」導入検討に取り組む予定。

#### 議会の視点

派遣されるデジタルに関する知識を有する人材の助言を取り入れ、DX推進施策が効果的に

拡大を検討する。

#### 議会の視点

キャッシュレス決済はデジタル化の足がかりとなるもの。行政のデジタル化推進により、自宅で手続きが可能な届出もある。市民の利便性向上・市役所業務の効率化・先進的なまちというイメージなどのメリットも。市民もぜひ利用していただきたい。

◎園児送迎バス・スクールバスに安全装置を設置 保育対策総合支援金事業補助金 122万円

概要 園児・児童のバス車内への置き去り防止のため、安全装置を設置するもの。

Q 設置を予定している防止システムの概要は。

A 降車時に運転手が確認するプザー式、車内センサーを利用する自動感知式を併用して使用する。

#### 議会の視点

昨年各所で発生した園児のバス置き去り死亡事故を受けての国の施策。早期の設置が待たれる。



園児送迎バスイメージ

◎移住定住促進拠点整備事業 委託料を減額 1100万円

概要 空き家を改修し移住者などの相談や交流、移住りエゾンの活動拠点とする計画の見直しによるもの。

Q 事業の条件に合うような空き家はなかったのか。

A 駅近辺を活動の拠点として想定していたが、応募の物件とは条件が合わず、移住りエゾンの活動内容の変化もあり、事業計画を見直した。

#### ◎学校給食費納付金の減額 [歳入] ▲500万円

概要 新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、学年・学級閉鎖による実施日数減少による。

Q 食材の納入業者などから、問い合わせや相談はなかったか。

A 給食提供の直前に閉鎖が決まることから、食材の買取が必要な場合もあったが、他の学年や学校間で調整し、業者からの相談などはなかった。

#### ◎自殺対策緊急強化事業 220万円

概要 自殺対策基本計画の策定や相談会開催にかかる費用。若年者向けは小中高校生を対象に、年代に合わせた講演のほか、相談窓口の紹介、パンフレットの配布などを実施。

Q 自殺者が大きな社会問題となつていますが、本市の現状は。

A 県による公表数値では、平成30年8人、令和元年2人、令和2年1人、令和3年3人。例年高齢者が多く、近年20代以下はいない。若年層への自殺対策も継続と強化を図る。

#### 議会の視点

市の取り組みが功を奏していることが伺えるが、油断はできない。家庭、学校、地域が一体となった、市民の命を守る不断の連携の中での工夫と強化に、終わりはない。自殺者を出さないため、さらなる対策の強化が望まれる。

令和5年度一般会計予算 159億9000万円

新年度はコロナ対策から脱却し、これまで停滞していた各産業の盛り返しと、地域コミュニケーション活動の再開が予測される。また、多様化・複雑化する社会ニーズへの対応などの課題が山積する中で、本市がどのような切り口で具現化していくのか、議会でも注視していく。

活気のある市民の声が響く行政の施策を期待する。

#### 注目事業の審議・審査

①市の窓口がキャッシュレス化対応へ 導入委託料 760万円

概要 市役所窓口キャッシュレス決済を導入。電子マネー、クレジットカードやQRコード決済に対応する。

Q キャッシュレス機器を各窓口へ配置予定だが、コンビニでの各種証明書の交付や納税の支払いのようなイメージか。

A 今回は支払いのみ対応する。各庁舎へ計6台設置するが、状況をみながら、設置箇所の

#### ◎若者夫婦・子育て移住世帯 家賃補助金 50万円

UIJターン若者地元就職促進家賃等補助金 57万円

概要 若者夫婦・子育て移住世帯や移住・Uターンにより地元就職した若者に、家賃補助をするもの。



#### 議会の視点

若者や子育て世帯のライフステージに合わせた新規事業。本市定住への第一歩となるよう、事業の推移を注視したい。



産業建設常任委員会による現場踏査

#### 議会の視点

国の補助金のほか、クラウドファンディング型ふるさと納税を活用して行われる事業。市内外の寄付者や市民の期待を受けて供用開始となる。アウトドアスポーツの振興だけでなく、若者文化の発信地としても期待したい。

実施できること、職員への教育的な役割も担うことを期待する。

#### ◎スケートパーク施設整備事業 4620万円

概要 追加のセクションの造成や管理棟などを設置する。

#### 議会の視点

国の補助金のほか、クラウドファンディング型ふるさと納税を活用して行われる事業。市内外の寄付者や市民の期待を受けて供用開始となる。アウトドアスポーツの振興だけでなく、若者文化の発信地としても期待したい。



議提・陳情

Table with columns for item number, name, result, council member number, and council member name. Includes items 1-5 and R4/R12 regarding tax and school activities.

3月定例会（2月22日～3月20日）

Table with columns for item number, name, result, council member number, and council member name. Includes items 12-14 regarding tax and information protection.

議提第1号 採択
議提第2号 採択
議提第3号 可決
陳情第1号 不採択
陳情第12号 趣旨採択



菊地 衛 議員 逝去

菊地 衛 議員 逝去
昭和62年9月より仁賀保町議会議員として、旧三町の合併以降はにかほ市議会議員として在職され、町政ならびに市政の発展にご尽力されました。

にかほ市議会議員の菊地衛氏が3月5日に逝去されました。昭和62年9月より仁賀保町議会議員として、旧三町の合併以降はにかほ市議会議員として在職され、町政ならびに市政の発展にご尽力されました。

議案・賛否一覽

総務…総務常任委員会、教民…教育民生常任委員会、産建…産業建設常任委員会
○は賛成 ●は反対 ※1 議長は表決しない
※2 7番菊地衛議員の表決は、議案第2号および第3号のみ。

Large table listing council proposals and resolutions with columns for item number, name, result, council member number, and council member name. Includes items 2, 3, 4, 5, 6, 7, 8, 9, 10, 11, 12, 13, 14, 15, 16, 17, 18, 19, 20, 21, 22, 23, 24, 25, 26, 27, 28, 29, 30, 31, 32, 33, 34, 35, 36, 37, 38.

2月臨時会（2月7日）

3月定例会（2月22日～3月20日）





DX推進による  
課題解決への足がかり  
DX研修の業務を委託  
150万円



3番  
佐々木正勝 議員

コンサルタント会社の専門的な知識・技術をもった人材によるDX研修。

情報通信、IT、アプリケーション研修を通じた、職員のレベルアップと地域の抱える課題解決につながる事に期待したい。

市民税収入の動向に注目

市民税収入の増額  
11億673万円



2番  
齋藤光春 議員

コロナ禍による規制も緩和され、経済活性化も期待されるようになった。

各事業者が支援事業などにより経営を耐え忍んできたことから、今後の地域の景況回復を期待する。



未来明るいにかほ市へ！

若者100人会議  
504万円



1番  
高橋利枝 議員

「若者100人会議」が発足して3年目。市内在住の若者が、活気あふれるにかほ市にするアイデアを出し合いながら、いくつか具体的に実践しているが、とても興味深く面白い。今後さらなる「ワクワク」を期待している。

特集 議員の視点

令和5年度予算 議員15人は

ここに注目

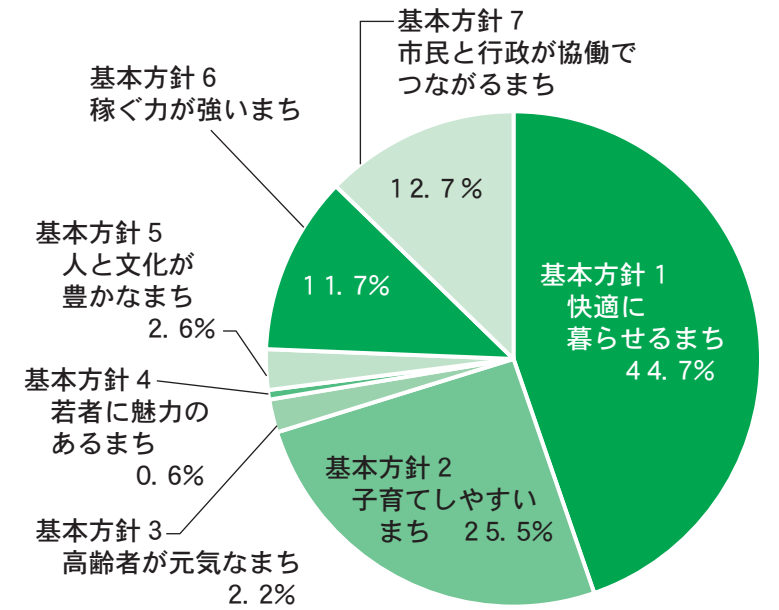


議員15人が注目する令和5年度予算は。各議員の意見も合わせてお知らせします。

令和5年度主要事業の概要から

基本方針1	快適に暮らせるまち	27億8千万円
基本方針2	子育てしやすいまち	15億9千万円
基本方針3	高齢者が元気なまち	1億4千万円
基本方針4	若者に魅力のあるまち	4千万円
基本方針5	人と文化が豊かなまち	1億6千万円
基本方針6	稼ぐ力が強いまち	7億3千万円
基本方針7	市民と行政が協働でつながるまち	7億9千万円

注) 本表は、「にかほ市総合発展計画」の基本方針の項目ごとに、一般会計予算の主要事業を分類整理したものです。そのため、項目の合計額と令和5年度当初予算総額は一致しません。



新しい時代の  
商店街再生に期待  
商業活動の活性化の支援  
140万円

商店街活性化の一環として、ウェブやオンラインを活用した商店・商店街のPRに取り組むとのこと。

この取り組みが市民への認知度向上および利用、さらには、商店街の賑わい創成のきっかけに、つながることを期待する。



5番  
齋藤雄史 議員

スケートパーク開設とアウトドアアクティビティ拠点施設がそれぞれ年度内に完成されることにより、若者が市内に集まる事を期待する。今後、ソフト・ハード面の事業に関して、議会でのさらなる議論が必要と考える。



若者の集まる  
にかほ市に



4番  
宮崎信一 議員







一人も置き去りにしない  
DX（デジタルトランスフォーメーション）の推進 1470万円



14番  
佐々木敏春 議員

本年度、市役所窓口にキャッシュレス端末導入。マイナンバーカードを皮切りに、豊かな社会を目指しデジタル化は進められる。高齢者が利便性を享受できるよう「遅れている人に合わせ」「誰にでも分かり易く」が求められる。



結婚支援事業、結婚新生活支援事業（結婚生活のスタートアップに係るコストの一部を補助することにより結婚に伴う経済面への支援を行い、新婚世帯の負担軽減を図る）、また、すこやか子だから祝い金支給事業など、若い世代に向けた各種施策が少子化対策の一助となるよう期待する。



16番  
伊藤竹文 議員

若い世代の希望実現へ  
3651万円

子育てしやすいまち

無農薬米を  
学校給食へ提供する  
グリーンな栽培体系への  
転換をサポート  
816万円



13番  
佐々木春男 議員

給食が実現すべき価値は食の安全にとどまらず、生産者の育成、自然環境の保全などであり、それが地域の再生にもつながっているケースもある。



全額助成  
12～25歳の男性も対象に  
男性のHPVワクチン予防  
接種を助成 249万円



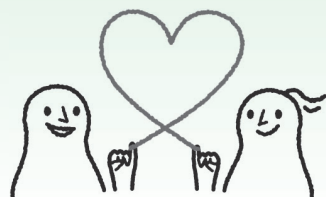
12番  
佐藤直哉 議員

女性の子宮頸がん予防とともに、咽頭がんや直腸がんなどの予防効果があるとされるHPVワクチン。正しい理解と認識の遅れから、いまだ全国的に接種率が上がっていない。本市の先進的な取り組みの意義は極めて大きい。



15番  
森 鉄也 議員

結婚を望む若者世代の結婚支援や新婚世帯の生活支援、不妊治療、妊産婦医療費助成、妊婦検診など妊娠期にかかる健康管理や負担軽減、子だから祝い金など、若者世代が安心して暮らし子育てができる手厚い支援に大きな期待。



若い世代の  
希望実現のために  
結婚から出産までの  
手厚い支援  
3651万円



二人の夢を叶えよう  
不妊治療を助成  
201万円

不妊には、男性女性それぞれに原因が存在するとされるが、男性の多くは自分には関係ないと捉えていることが多いそうだ。男性へのアプローチで、二人の願いが叶うように。エールを送ります。



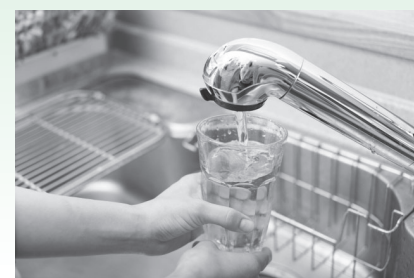
8番  
齋藤 進 議員

電気料金など光熱費の高騰は、家計のみならず公共事業にも影響を与えている。適正な運営を行っていくためにも、審議会での協議に注視したい。受益者減少（人口減少）による影響は、皆で共有し考えていかなければならない大きな課題だ。



6番  
齋藤 聡 議員

水道料金を見直しへ  
動力費 1900万円  
増額(54・6%)と公営  
企業運営審議会開催へ



みんなが楽しめる  
スポーツの振興を  
スケートパーク施設を整備  
4620万円



11番  
佐々木孝二 議員

市内外からの、クラウドファンディングで待望のスケートボード専用コースが完成する。本当にありがたいことだ。この議会だよりが発行される頃には、楽しく滑ってる事でしょう。今後、関係、交流人口が生まれる事を期待する。



子育て支援の充実を  
出産子育て応援交付金  
800万円



10番  
小川正文 議員

市町村が創意工夫を凝らしながら、妊娠届出時より妊婦や特に0才から2才の低年齢期の子育て家庭に寄り添い、出産・育児などの見通しを立てるための面談・情報発信を通じて経済的な支援を含めた事業である。期待している。

若者が集う場に!!  
スケートパーク施設を整備  
4620万円



9番  
佐々木平嗣 議員

東京オリンピックが若者に火をつけたスケートボードの施設が秋田・にかほ市にできる。全国の若者が集う施設整備に大きな期待をしている。







録画配信

3月定例会では6会派が登壇しました。  
※本会議の様子は議会ホームページからオン  
デマンド（録画）でご覧いただけます。

# 会派代表質問

…会派が市の施政方針に対して行う質問

<p><b>響</b> もり 森 議員 てつや 鉄也 議員</p>	<ol style="list-style-type: none"> <li>令和5年度予算 「ふるさと納税」について</li> <li>快適に暮らせるまち 「災害に強いまちづくり」について</li> <li>稼ぐ力が強いまち 「人・農地プランから地域計画策定への取り組み」について</li> <li>市民と行政が協働でつながるまち 「旧上郷小学校活用事業」について</li> </ol>	P.13
<p><b>創明会</b> ささきこうじ 佐々木孝二 議員</p>	<ol style="list-style-type: none"> <li>人と文化が豊かなまち 「みんなが楽しめるスポーツの振興」について</li> <li>稼ぐ力が強いまち 「稼ぐ農林業の育成」について</li> </ol>	P.13
<p><b>きぼう</b> さいとう みつはる 齋藤 光春 議員</p>	<ol style="list-style-type: none"> <li>施政方針について</li> </ol>	P.14
<p><b>にかほクラブ</b> ささきとしつぐ 佐々木平嗣 議員</p>	<ol style="list-style-type: none"> <li>施策の新年度対応について</li> <li>快適に暮らせるまち 「若者支援住宅整備」による市内への定住化について</li> <li>人と文化が豊かなまち 「公園の整備について」</li> <li>稼ぐ力が強いまち 「稼ぐ農林業の育成」について</li> </ol>	P.14
<p><b>日本共産党</b> ささきしほお 佐々木春男 議員</p>	<ol style="list-style-type: none"> <li>稼ぐ力が強いまち 「稼ぐ農林業の育成」について</li> </ol>	P.15
<p><b>公明党</b> ささきとしはる 佐々木敏春 議員</p>	<ol style="list-style-type: none"> <li>「市民と行政が協働でつながるまち」関連施策として、「子ども若者議会」を設置することについて</li> <li>教育支援センター『ぱすてる』の運営について</li> </ol>	P.15



## ふるさと納税の使い道は



録画配信

### 寄付者の希望する事業へ充当している

#### 市長



会派 森 響  
議員 鉄也

**市長** 防災行政無線の強化事業により、メールやLINE、電話確認など、二重三重の情報取得手段を用意し、多様なニーズに対応していきたい。

**市長** 昨今の物価高騰などから、総務省基準の経費5割枠内の運用は、厳しい状況が想定される。市民の他自治体への寄付は、令和4年度370人で、寄付総額は2824万円、住民税減少額は1268万円となっている。地域活性化企業人制度を活用し、ふるさと納税の基盤強化を図っているところである。

**市長** 市内七つの地域を設定し、今年度は農地の出し手と受け手などの意向調査と、地域での話し合いが主な取り組みとなる。10年後を見据え、地域の農業・農地を将来にわたり維持・存続させる強い意志を持って協議を進め、将来目指すべき姿を作り上げたい。

**市長** グラウンドやプール、敷地全体を利用した運営を希望しており、早期の運営開始につながるよう協議を行っていく。契約締結は四月以降で、カフェやマルシェ、宿泊施設、サウナ棟など順次オープンを進め、PRや地域への説明の場を設け連携計画も示したい。

**市長** 市内七つの地域を設定し、今年度は農地の出し手と受け手などの意向調査と、地域での話し合いが主な取り組みとなる。10年後を見据え、地域の農業・農地を将来にわたり維持・存続させる強い意志を持って協議を進め、将来目指すべき姿を作り上げたい。

**市長** 市内七つの地域を設定し、今年度は農地の出し手と受け手などの意向調査と、地域での話し合いが主な取り組みとなる。10年後を見据え、地域の農業・農地を将来にわたり維持・存続させる強い意志を持って協議を進め、将来目指すべき姿を作り上げたい。

**市長** 市内七つの地域を設定し、今年度は農地の出し手と受け手などの意向調査と、地域での話し合いが主な取り組みとなる。10年後を見据え、地域の農業・農地を将来にわたり維持・存続させる強い意志を持って協議を進め、将来目指すべき姿を作り上げたい。

**市長** 市内七つの地域を設定し、今年度は農地の出し手と受け手などの意向調査と、地域での話し合いが主な取り組みとなる。10年後を見据え、地域の農業・農地を将来にわたり維持・存続させる強い意志を持って協議を進め、将来目指すべき姿を作り上げたい。

## みんなが楽しめるスポーツの振興を



録画配信

### 多くの人に喜んでいただけるスケートパークにしていきたい

#### 市長



会派 創明会  
議員 佐々木孝二

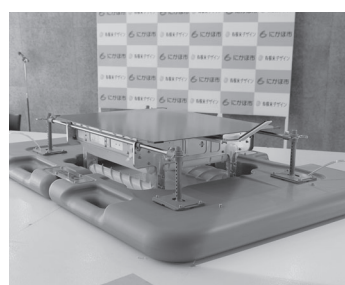
**市長** トイレ・更衣室・シャワーやサロンなどをスケートパークと共有化できると考えている。

**市長** 竹嶋潟艇庫はアウトドアアクティビティ拠点の一つとして位置付けている。多様な学習機会や憩いの場としても利用可能なサロンなども想定をし、現在の艇庫の2倍の規模となる。

**市長** 利用者には毎年必ず利用登録申請と、誓約書を提出していただく予定としている。

**市長** 利用者には毎年必ず利用登録申請と、誓約書を提出していただく予定としている。

**市長** 利用者には毎年必ず利用登録申請と、誓約書を提出していただく予定としている。



▲アイガモロボット

**市長** アイガモロボットと水位センサーなどの機材を1セット導入した場合、慣行栽培の収益と比較して1反あたり約2万円増となる見込み。

**市長** 5者連携を軸に、しっかりと実験に取り組み、令和7年度までに営農モデルを確立することを最優先と考えている。目標面積の設定は考えていない。

**市長** 5者連携を軸に、しっかりと実験に取り組み、令和7年度までに営農モデルを確立することを最優先と考えている。目標面積の設定は考えていない。





会派 さいとう 光春 議員

### 市長の描く、にかほ市のグランドデザインは



市長 若者に焦点を当てた若者福祉施策に重点

**問** 市長の描く活力ある将来のまちづくりのグランドデザインは。

**市長** 人口減少対策として若者福祉施策に重点を置きながら、各世代の福祉向上、各産業の活性化を図るとともにシテイセールスに力を入れ、本市が将来にわたり存続し得るまちづくりをすすめる計画は。

**市長** 公共施設等総合管理計画に基づき、今後の社会情勢や財政状況を見極めながら検討したい。

**問** 企業誘致の候補地は、対象企業や基準をどのように調査・選定しているのか。

**市長** 企業誘致候補地調査事業では、主に物流センターや製造業などを想定。郊外の広い土地を中心に、交通の便や造成コストを基準として調査を行っている。



**問** 企業誘致に関し、にかほ市商工会商業部会との懇談会において「人手の確保が難しく大きな企業や既存の企業を呼ぶのは難しい。ベンチャー企業、スタートアップの企業の誘致を目指す」との考えを述べたようだが。

**市長** 「大きな企業を呼ぶのは難しい」と言ったが諦めたということではない。常に企業に赴き、企業誘致の方向性を探っている。

### 「グリーンな栽培体系」への支援は



市長 適時適策の姿勢をもって取り組んでいく

**問** 環境に優しい栽培技術と省力化に資する先端技術等を組み合わせた「グリーンな栽培体系」を推進することは重要な課題であり、事業者の取り組みに対して様々な支援が必要ではないか。

**市長** まず多くの皆さんから理解していただくことも重要であると考えている。来年度は市内の各所でアイガモロボを活用した実証実験のほ場を展開するので、実際に取り組んでいる様子をご覧いただくとともに、そのほ場で生産された無農薬米を市内の全小・中学校の給食として提供し、環境保全型スマート農業への理解を深めていきたい。



会派 ささき 春男 議員

推進については、様々な場面に応じた支援が必要であると思っており、適時適策の姿勢をもって取り組む。

**教育次長** 学校給食において地場産物を活用した献立を提供することは、児童・生徒に地域の食文化に親しみ、安心・安全にふるさとの味を味わう大変貴重な食育の機会と考えている。アイガモロボを活用した実証実験で生産された無農薬米を、学校給食用に提供を受ける予定である。



### スケートパークとふるさと納税のさらなる活用を



市長 クラウドファンディングによる施設拡張は考えていない



会派 ささき 平嗣 議員

**問** ①地域医療・救急医療体制は。②情報公開と市民の意見を反映する取り組みは。③ごみの適正処理は。

**市長** ①関係機関とも協議を重ね、二次医療圏を担う救急病院・救急医療体制の強化へ効果的な支援ができるよう取り組む。②情報公開制度とパブリックコメント制度の適正な運用と併せ、より多くの市民の意見をいただくよう努める。③廃棄物に対する意識や資源化率の向上を図るため、施設への持ち込み手数料の見直しやゴミ袋の有料化などを検討する。

**市長** 令和3年度の調査によると、商店街の活性化と特産品開発、販売支援を望む市民の声が多い。個店や地域商店団体などが主催する各種イベントなどへの支援や、小規模事業者への設備投資支援を行っている。

**市長** 東京オリンピックでの日本勢の活躍後、本市がいち早くパーク整備に名乗りを上げたため、スケートパークとふるさと納税について

**問** 若者の支持を得たのはどの点か。最終事業費は。新たな施設整備の考えは。

**市長** 若者の支持を得たのはどの点か。最終事業費は。新たな施設整備の考えは。

### 「子ども若者議会」の設置を



市長 実施の可否や進め方について調査・研究する

**問** 子どもの権利擁護が図られ、子ども施策を総合的に促進することを目的とした「子ども基本法」が4月に施行され、施策に関する司令塔となる「子ども家庭庁」がスタートする。基本法に定める子どもや若者が意見を表明し施策に反映できる仕組み作りとして、「子ども若者議会」の設置について伺う。

**市長** 遊佐町の少年議会はじめ、県内でも子ども若者議会に類似する事例がみられる。本市では、夫婦町である松島町と実施している中学生リーダー研修などがある。学校なども協議し、実施の可否、進め方等について調査・研究する。



会派 ささき 敏春 議員

**教育支援センター「ばすてる」の運営について**  
**問** 5月から不登校児童・生徒の対応にあたる「ばすてる」は、キャッチフレーズに「ありのままの君を受け入れる新たなかたちを」を掲げスタートするが、具体的な取り組みについて伺う。

**教育次長** 全国的な傾向として、児童生徒が減少する中で不登校の子どもたちは増加しており、本市でも年々増加傾向にある。一人ひとりに合わせた学習支援、ボランティアなどの体験活動、保護者への相談支援に取り組む。何より児童生徒の居場所となり、保護者を含めた心のよりどころとなる関係を築いていきたい。







録画配信

3月定例会では7人が登壇しました。  
※本会議の様子は議会ホームページからオン  
デマンド（録画）でご覧いただけます。  
…議員が定例会にて行う行政事務全般についての質問

# 一般質問

さいとう ゆうし 齋藤 雄史 議員	1. 中学校部活動の部員不足に対する市の対策は 2. 住みよい・暮らしやすいまちづくりの推進	P. 16
ささき きとしはる 佐々木敏春 議員	1. 松枯れ危険木の対策について 2. 住民主体の避難計画策定と地域の防災力向上の取組支援について 3. デジタル化の取組強化について	P. 17
ささき はるお 佐々木春男 議員	1. 国保税高校までの均等割り減免と滞納者への生活再建のため丁寧な支援を 2. ゲノム編集トマトの小学校への配布は拒否すべき	P. 17
ささき まさかつ 佐々木正勝 議員	1. 第三セクターに対する行政関与について 2. 若者支援住宅整備事業について	P. 18
おがわ まさふみ 小川 正文 議員	1. にかほ市の農業について	P. 18
さいとう みつはる 齋藤 光春 議員	1. 人口減少・少子高齢化対策について 2. 若者支援住宅整備事業について	P. 19
たかはし としえ 高橋 利枝 議員	1. 住宅用火災警報器の設置義務について 2. 白瀬南極探検隊記念館の在り方について	P. 19

## 町内会による避難計画作りへの支援制度の設置を



ささき きとしはる  
佐々木敏春 議員



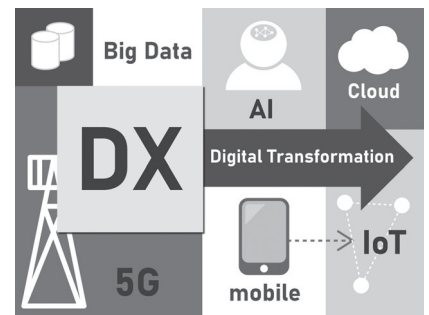
録画配信

地域の声を聞きながら支援の在り方を検討していく **市長**

**行政主導から住民主体の取り組みに転換**  
**問** 平成30年7月の西日本豪雨災害を教訓として、「防災対策の方向性」はこれまでの行政主導を根本的に見直し、住民主体の取り組みに転換している。町内会などによる避難計画策定の取り組みに対する、支援制度の設置について伺う。

**市長** 自治会としての役割を果たすための避難計画策定に対し、防災士を派遣したり、専門家を招聘する場合の費用助成などが考えられるが、計画の策定に限らず、市民自らの防災活動については、地域の皆さんの声を聞いて検討していく。

**問** デジタル化の推進は、ICTやIoTの技術を活用し、市役所の業務、組織の在り方を変革するものであることから、強力に推進を図る必要がある。デジタル化推進に向けた年次目標、推進体制



**市長** 国の「自治体DX推進計画」策定を受け、「にかほ市自治体DXビジョン」を策定中である。市役所の業務効率化に始まり、市民、地域へと実用化による波及効果を拡大させる、今後3年間の計画となる。

デジタル化の推進には、人材の確保が課題であることから、本年度、国の地域活性化企業人制度により民間から社員の派遣を受け入れる。



ささき はるお  
佐々木春男 議員

## 国保税の高校までの均等割減免を



録画配信

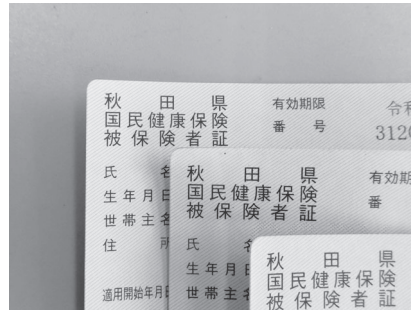
引き続き全国・県市長会を通じて国に要望 **市長**

**問** 国保税の高騰を招いた要因は、国保に対する国の責任後退、加入者の貧困化、高齢化、重症化が一体に進んでいるからだ。

**市長** ①高校までの均等割減免の考えはないか。  
②毎年、国保税を払いきれない方がいる。継続すると短期保険証、資格証明書の発行につながる。税の減免や生活保護の申請など、生活再建に向けて丁寧な対応が必要では。

**市長** ①市独自の軽減措置を高校生まで拡大した場合、保険料の減少や国保からの交付金の削減分を賄うために、加入者への負担が増加する。  
対象範囲の拡大を、引き続き全国市長会や秋田県市長会を通じて、国に要望していくことを考えている。

②令和2年10月からは資格証明書を短期被保険者証に切り替えて交付をしているため、医療機関窓口で全額負担となる対象者はいない。国保税の減



**問** ベンチャー企業がゲノム編集されたトマトの苗を、福祉施設や来年度から小学校を対象に配付する計画を発表している。ゲノム編集トマトは拒否すべきである。

**市長** 現在、市内小学校にゲノム編集トマトの苗が配付された事実はなく、検討に至っていない。児童・生徒の健康と安全を最優先とし、慎重に考慮した上で適切に判断、対応したい。

**問** 高年齢者や免許返納者が増えている中、必要不可欠となる公共交通のデマンド化に向けた見直しは。

**市長** 利用者の様々なニーズに応じ、全体の最適化という見地から市内公共交通ネットワークの構築を進めてまいりたい。

※デマンド交通とは、利用者の予約に応じて運行する地域公共交通。

## 中学校部活動の部員不足への対策は



さいとう ゆうし  
齋藤 雄史 議員

新たな取り組みを検討していく必要がある **教育次長**



録画配信

**問** 部活動におけるハード面の施策や取り組みは

**教育次長** 部活動の意義から考えて、学校のグラウンドが芝生である必要はないと思われる。

**市長** 野球場やテニスコートなど、既存施設の老朽化も問題となっている。サッカーグラウンドの人工芝化は、優先順位は高くないものと認識している。

**市民が暮らしやすいまちづくり**  
**問** サイズの小さなごみ袋に二つの高まりが見られる。小さな指定ごみ袋の作成や、持ちやすく縛りやすい取っ手付き袋を導入する考えはないか。

**市長** できるだけ使いやすいうものに改善できないか、生活スタイルの変化などへの対応には何が有効かなど、市民の利便性を



の向上について見直しを検討していきたい。

**問** 高年齢者や免許返納者が増えている中、必要不可欠となる公共交通のデマンド化に向けた見直しは。

**市長** 利用者の様々なニーズに応じ、全体の最適化という見地から市内公共交通ネットワークの構築を進めてまいりたい。

※デマンド交通とは、利用者の予約に応じて運行する地域公共交通。





佐々木正勝 議員

### にかほ市観光開発株式会社の経営状況は

**市長** 非常に厳しい状況が続いていると捉えている



録画配信

**にかほ市観光開発株の経営状況は**

**問** にかほ市観光開発株の経営状況をどのように捉えており、今後どのように関与していく考えか。

**市長** 天候不順や大規模改修による「ねむの丘」の休館、新型コロナウイルス感染症による経済活動や人流の抑制、さらには昨今の資源価格高騰による物価高が追い打ちをかけている。  
3期連続のマイナス決算となり、非常に厳しい状況が続いていると捉えている。

**問** 「はまなす」と「ねむの丘」の採算性を、どのように受け止めているか。

**市長** 非常に厳しい経営状況が続いているという認識を持っている。

**問** にかほ市観光開発株の純資産が減少し、自己資本がマイナスの状況まで悪化している。指定管理料の設定や財政支援の考えはあるか。



**市長** 安定的な経営ができるよう、必要最小限の範囲で、指定管理料の設定や財政支援について検討の余地があるものと考えている。

**若者支援住宅の整備**  
**問** 家賃助成により入居者の家計負担を減らすことも検討するとしていたが、この助成も見直しとなるのか。

**市長** 整備計画見直しの進捗状況をにらみながら引き続き検討を進めていきたいと考えている。

### 人口減少・少子高齢化対策と若者支援住宅整備事業の推進について

**市長**

予算規模を含め計画を見直しなが  
整備を進めたい



録画配信

**人口減少・少子高齢化対策について**

**問** ①最近5年間の移住者の就職先と移住目的、定住数、一人親世帯の移住実績数は。  
②若者層の定着化また出生率の向上には所得向上が不可欠と考えるが。  
③移住者や若者層への施策ばかりが目立つが、現住の高齢者や住民への施策は。

**市長** ①プライバシーの問題もあり、統計的な調査はしていない。  
②地元企業への各種施策による支援が、賃金改善になると捉えている。  
③介護保険に関する調査で、健康の主観的幸福感が非常に高い結果があり、極めて高い品質のサービスを提供していると自信を持っている。

**若者支援住宅整備事業について**

**問** ①TDK株との協議はどの部門と行ったのか。  
②事業の検討はどのような体制でどの部局で行ったのか。

**市長** ①TDK株が独自で社員の準備を進めている情報は、いつ取得したのか。  
④現状の社会情勢、経済状況でも若者支援住宅の建設を進めるのか。

**市長** ①TDK株本社は、市長就任以来頻繁に意見交換の積み重ねをしてきている。いついつの日時と申し上げることはできない。  
②関連業務に関する関係部局と協議を経て業務を執行している。  
③相手方の了承を得られない内はつまびらかに回答することは避けるべきと考えている。  
④アパートの不足、若者の自立等を考え整備の意義は極めて大きい。予算規模を含め計画を見直しなが整備を進めたい。

**市長** ①TDK株との協議はどの部門と行ったのか。  
②事業の検討はどのような体制でどの部局で行ったのか。

### にかほの農業について

**市長** スマート農業機械、施設導入支援を掲げている



録画配信



小川正文 議員

**スマート農業について**  
**問** 生産性向上や省力化のためのスマート農業機械、施設導入支援の内容について伺う。

**市長** スマート農業に関しては、令和2年度に市単独の次世代農業先進技術推進事業補助金を創設し、散布用ドローン導入1件95万2千円を交付している。今年度は県の低コスト技術導入支援事業を活用し、位置情報を利用した直進アシスト機能付き田植え機2件の導入を支援している。

**問** 農業機械、施設など導入の具体的内容説明があったが、花き農家も含まれるのか。その範囲について伺う。

**市長** 機械の種類等については非常に多様化していることは理解している中にはにかほ市にふさわしくない、活用することのない機械もあり、関係機関と調整を図りながら推進していくことになる。



▲ドローンによる農業散布

**水田活用直接支払交付金**  
**問** 5年間に一度も水張りを行わない水田は、交付金の対象から除外されるとの見直しが行われている。その後の経過について伺う。

**市長** 県では今年1月から、畑地化・復田時の技術対策などをまとめたマニュアルを公開し、田畑輪換に必要な機械導入に対する助成を来年度予算に要求している。国では、今年1月下旬に、新たな条件緩和を打ち出した。市としても、今後とも国の動向を注視し、安定した営農が継続できるように関係機関と連携し対策を検討していく。今後も機会を捉えて県や他市町村とも連携し、粘り強く、国・県への要望を行っていく。

**市長**

設置率100%を目指し活動していく



録画配信

### 住宅用火災警報器未設置世帯への対応は



高橋としえ 議員



**住宅用火災警報器設置の取組強化を**  
**問** 住宅用火災警報器の設置が義務化され10年以上が経過したが、本市の設置状況は73・5%にとどまっている。未設置世帯や設置後10年経過した取換時期である世帯への啓発活動などの取り組みは。

**市長** 本市の住宅用火災警報器の設置状況は、国・県を下回っている。市でも自治会などの連携の下、設置・点検状況の調査を実施している。経過年数や作動の有無を確認し、重要性の説明やチラシ・ポスター制作などにより、設置率100%を目指してPR活動を継続していく。

**問** 高齢者世帯など一定の条件の下、設置のための補助制度を設けては。

**市長** これまで秋田県消防設備協会より無償提供を受けた警報器を、市内対象世帯へ無償で配布してきた。補助制度については「高齢者日常生活用具給付等事業」において負担する制度があり、引き続き制度の周知に努めていく。

**白瀬記念館のあるべき姿は**

**問** 白瀬南極探検隊記念館における資料保存と管理は、適切に行われているか。また、今後の収蔵スペースの確保や管理方法の方針は。

**教育次長** 当館の収蔵資料約2万点を、職員が専門家の意見を取り入れながら保存管理条件を満たすようにしている。また、現在資料のデジタル化を進めている。将来的にはデジタルアーカイブとして情報発信力を強化していく。



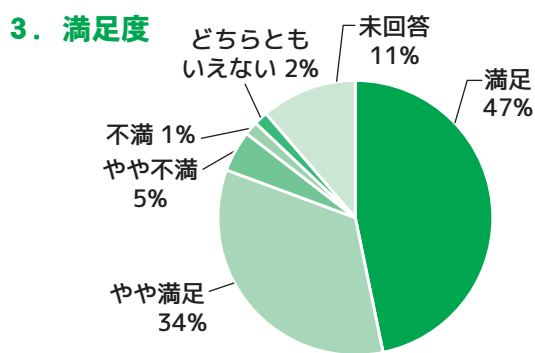
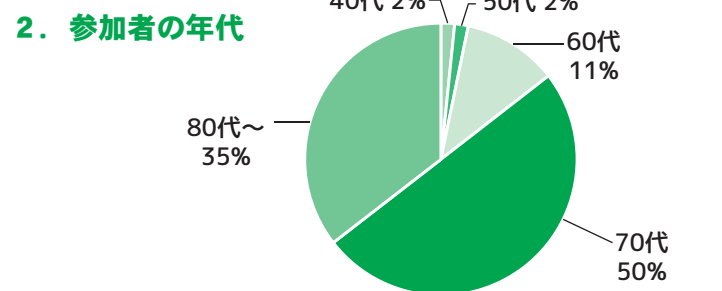
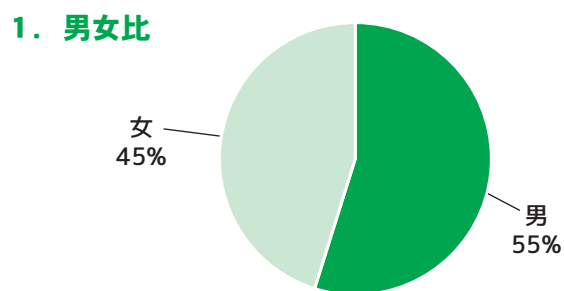
# 議員と語ろう！ ～参加者アンケート結果～

令和5年1月16日から2月18日まで、市民との意見交換会「議員と語ろう！」を開催し、市内の4団体（参加者66人）と意見交換を行いました。

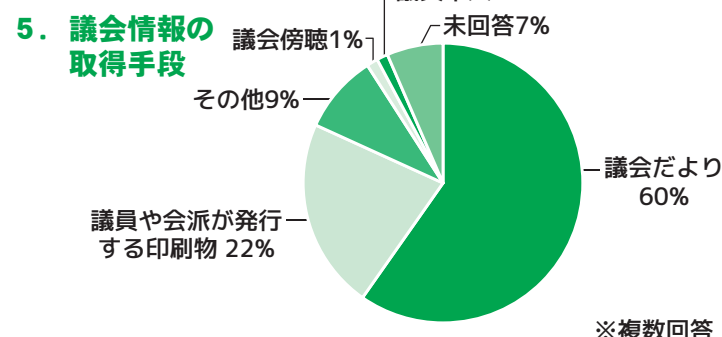
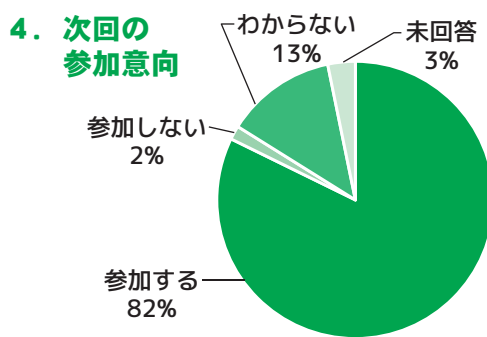
市議会では、市民からいただいた疑問や問題提起などを政策立案へつなげるよう、調査研究に取り組みます。



▲ 汐見町老人クラブ



- ▶ 満足**
  - 幅広い話題が出て課題が多いことを知ることができた。
  - 直接、議員の顔を見て意見を聞くことで親近感を感じた。
  - これからも多様な意見を聴いてほしい。開催回数を増やしてほしい。
  - もっと法律的な内容を知りたい。
- ▶ やや満足**
  - 議員が市民のために何を目標として活動しているのか知りたい。
  - 懇談の内容は、市民が日常困っていることについてで良いと思う。
- ▶ やや不満**
  - 懇談項目の一部しか取り上げられなかった。
  - 市の施策やまちづくりに対して議員の考えをもっと聞きたかった。
- ▶ 不満**
  - 質問したいことができなかった。



▲ 象潟陶芸クラブ



▲ 室沢明寿会

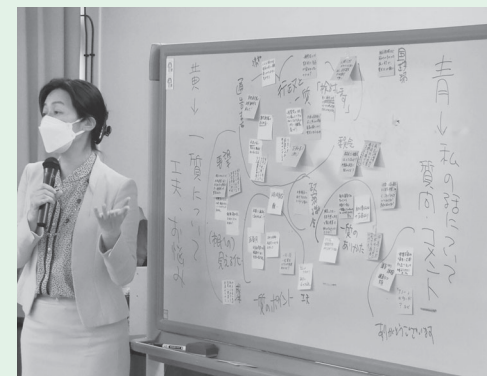


▲ 鳥海山・飛鳥ジオパークガイドの会

# 議員研修報告

令和5年3月23日、議員の質問力を高め、議会力に活かすことを目的に、法政大学法学部教授の土山希美枝先生を講師にお迎えし、研修会を開催しました。

本会議にて行われる一般質問が、市への監査機能、政策提案機能を果たし、より良いものになるよう、講師による講義やグループワークなどを行いました。議員からは、普段聞くことのできない疑問点について、積極的な質疑応答がありました。



## 令和4年度政務活動費交付金の執行状況

(R5.3.31決算見込)

にかほ市では、会派または議員一人あたり年12万円の政務活動費を交付しています。令和4年度は、市議会議員の改選のため、令和4年6月から令和5年3月までの期間が対象となりました。

※収支差額の収入超過分は市に返還。

会派名	収入	支出		合計
	交付金	調査研究費	広報費	
響	600,000	74,318	197,505	271,823
創明会	300,000	30,000	0	30,000
きぼう	200,000	20,000	0	20,000
にかほクラブ	200,000	20,000	0	20,000
日本共産党	100,000	10,000	58,775	68,775
公明党	100,000	10,000	0	10,000
高橋利枝	100,000	10,000	0	10,000
合計	1,600,000	174,318	256,280	430,598

主な支出【調査研究費】・議会タブレット通信費 【広報費】・会報発行・配布委託料

会派名	議員名	会派名	議員名
響	伊藤 竹文/森 鉄也/齋藤 聡	にかほクラブ	佐々木平嗣/小川 正文
	齋藤 雄史/齋藤 進/菊地 衛	日本共産党	佐々木春男
創明会	佐々木孝二/宮崎 信一/佐藤 直哉	公明党	佐々木敏春
きぼう	齋藤 光春/佐々木正勝	無所属	高橋 利枝



## 議会活動報告

- 2/1 全国高速自動車道市議会協議会総会
- 2/6 第2回秋田市議会議長会定例会
- 2/7 第2回臨時会**
- 2/8 にかほ市・遊佐町議会議員協議会総会  
にかほ市・遊佐町議会議員協議会研修会
- 2/9 全国市議会議長会第230回理事会・  
第114回評議員会合同会議
- 2/10 市議会議員共済会第3回理事会  
市議会議員共済会第125回代議員会
- 2/15 議会運営委員会  
議会全員協議会
- 2/17 秋田県後期高齢者医療広域連合議会定例会
- 2/18 「議員と語ろう！」鳥海山・飛島ジオパークにかほエリアガイドの会
- 2/22～3/20 第3回定例会**
- 2/22 正副議長・正副委員長会議
- 2/24 会派代表者会議
- 3/7 広報広聴委員会
- 3/9 議会運営委員会  
議会全員協議会
- 3/20 議会運営委員会
- 3/23 議員研修会
- 3/24 本荘由利広域市町村圏組合議会3月定例会
- 4/11 広報広聴委員会
- 4/13 第75回東北市議会議長会定期総会

掲載した他にも、市内外の行事等へ出席しています。

## 6月定例会の予定

- 6/6(火) 本会議(市政報告、議案説明ほか)
- 6/8(木)～9(金)  
本会議(一般質問)
- 6/13(火) 本会議(議案質疑、議案付託ほか)
- 6/14(水)～16(金)  
常任委員会(予算特別小委)審査
- 6/19(月) 本会議  
(委員長報告、討論、採決ほか)

※日程の変更は、議会HPにてお知らせします。  
※傍聴の際は、マスクの着用や手指消毒にご協力ください。

議会事務局 TEL 43-7511



## 議会だより、市議会へのご意見、市民の声をお寄せください。

お手紙、FAX、メールで

郵送 〒018-0192  
にかほ市議会事務局 宛て  
メール gikai@city.nikaho.lg.jp  
FAX 0184-43-7513

## 広報広聴委員会

委員長	齋藤進
副委員長	佐々木正勝
委員	高橋利枝 齋藤光春 佐々木孝二 佐々木春男 森鉄也 伊藤竹文



## 編集後記

過日行われました市民と議員との懇談会「議員と語ろう」に参加した市民から「生の声を話す機会を設けてもらったことは大変良かった。もっと長い時間が欲しかった。」との高評価をもらいました。今回は参加されなかった市民からも「次はぜひ参加を」との声も聞かれます。

このように議会への関心も高まる中、3月議会において議員報酬の増額が可決されました。市民の代表としての議員活動である「市民の声を市政に届け、行政が行う事業が将来に向けた効率的・効果的なものなのか公平・公正な監督・審査する」という大役を担っていることを再認識し、議員活動をしていかなければならないと考えております。

### 広報広聴委員会

委員 齋藤 光春